

ダイワコーポ

ECアプリ会社に出資

狭域店舗の業務獲得へ

ダイワコーポレーション

（本社・東京、曾根和光社長）は10日、EC

（電子商取引）関連のソフトウェア設計などを手がけるレスティルの第三者割当増資を引き受け、

1000万円を出資し

た。

レスティルが提供する専用ECアプリ「ボスケット」を支援する。同アプリは半径5キロにある登録店舗をスマートフォン

に表示し、チャットメ

ール機能を使い、買う側と売る側がコミュニケーションを取りながら商品を購入できるサービス。購入者が自宅に不在の場合も、専用のIoT（モ

ノのインターネット化）宅配ボックスを設置していれば配達や集荷に対応する。

ダイワコーポは、特に狭域商圈に焦点を当てたレスティルのビジネスに魅力を感じ、出資を決定した。連携を深め、B to BやB to Cで新たな物流サービスの創出につなげたい考えだ。

（小林 孝博）